

報道機関各位  
プレスリリース

2020年2月7日  
沖縄タイムス  
総合メディア企画局  
局長 上間正敦

## 全国初！地方紙がモバイルオーダーを実証実験 沖縄発のサービスで地域の飲食店を応援

沖縄タイムス社（那覇市、武富和彦代表取締役社長）は、事前にスマートフォンで注文と支払いをすませ、お店で待たずに商品を受け取るモバイルオーダーサービス「Dikitoon（ディキトーン）」の実証実験に取り組んでいます。

### 1. 地方紙が取り組む意義

モバイルオーダーは調理や支払いなどで来店客の待ち時間と、従業員の業務量を減らせる利点があるため、資金が潤沢な全国大手の飲食チェーンが独自開発し、相次いで導入しています。一方、多額の資金をシステム開発に割けない地方の中小・個人事業者は、IT導入が遅れ、競争力に差が出てきてしまいます。沖縄タイムス社は、地域のために頑張り、地域の人たちから愛されている飲食店を応援することが、地方紙としての役割と考え、モバイルオーダーサービスで実証実験に取り組むことを決めました。

沖縄に根ざした新聞社だからこそ、地域のお店と力を合わせてまとめることで、各社のメニューを集めた沖縄ならではのモバイルオーダーのポータルサイトを作り上げることができます。大手企業のような1社単独のアプリとは異なり、多様な店舗の多彩なメニューは差別化につながり、地域をさらに盛り上げて活性化につながると考えています。

モバイルオーダーサービスの開発、運用は新聞社としては全国で初めてとみられます。

### 2. 使い方

ディキトーンのグルメサイト画面から、実験参加店のページを選び、メニューを注文。来店する日にちや時間を決め、クレジットカード決済します。店舗に到着したら、①車から降りずに店員から窓越しに商品を受け取る、②入店してすぐに商品を受け取る、③店舗で待たずに飲食する一の3種類があります。



ディキトーンのごグルメサイト

### 3. 来店客のメリット

駐車場探し、満席時の順番待ち、支払いの順番待ち、料理が仕上がるまでの待ち時間などが解消され、ストレスのない入店と退店ができます

### 4. 参加店のメリット

- ①お客さまのストレスを解消して、顧客満足度が向上します
- ②満車や満席で帰ってしまうお客さまもテイクアウトで対応でき、機会損失を防ぎます
- ③沖縄タイムス紙面とサイトで参加店舗を紹介するので、認知度向上も期待できます。
- ④システムを取り込むスマートフォンかタブレットがあれば初期投資は必要ありません

### 5. 現在の参加店（QRコードは各店の個別ページです）

- ①小籠包と台湾唐揚げの臺瓏（タイロン）



- ②フライドチキン&サンドイッチ Guts



- ③あぐろ焙煎珈琲店



- ④ドーナツ専門の ball donut park（ボールドーナツパーク）



- ⑤MusicBar ケツの穴



- ⑥お花とケーキのお店 横綱



- ⑦ウッディーズ インターナショナルガストロパブ&グリル



### 6. 今後の展望

実証実験に取り組み、参加店や利用者のメリットを確認できれば、なるべく早い時期に本格運用していきます。

### 7. 問い合わせ

沖縄タイムス総合メディア企画局、電話098（943）3221、担当者は照屋剛志